

令和7年度第2回（第55回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和7年9月16日(火) 10:00～11:14
場 所	魚沼市役所本庁舎3階303会議室
出席委員	17人（うち代理出席1人） ※別紙、出席者名簿のとおり
欠席委員	8人
事務局	4人
傍聴者	1人
会議次第	1 開会 2 開会あいさつ 3 議 題 （報告事項） (1) のるーと魚沼の実証運行実績について（資料1） （協議事項） (1) 第二次魚沼市地域公共交通計画に（アンケート、施策イメージ等） ついて（資料2） (2) 地域公共交通計画「別紙」（地域間幹線系統）の変更（案）について （資料3） 4 その他 5 閉 会
会議結果	承認
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1 開 会

事務局	<p>本日出席予定の皆さんがそろったので、これより令和7年度第2回魚沼市地域公共交通協議会を開会する。</p> <p>本日の会議は、委員総数25人のうち、17人の出席をいただいております、協議会規約第12条第2項に定める過半数以上の定数に達していることから、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>また、本会議は、協議会規約第12条第7項の規定により、原則公開で行うこととしているので、あらかじめご了承ください。</p> <p>開会に当たり、会長の内田市長がご挨拶申し上げます。</p>
-----	---

2 開会あいさつ

内田会長 （魚沼市長）	<p>日頃、皆さんには公共交通をはじめ、市政全般にわたりそれぞれの立場でご理解とご協力をいただいております、改めて感謝申し上げます。</p> <p>前回第1回の会議以降、人事異動により委員が1名交代された。委員の皆さんからお力をお借りいたしましてよりよい地域交通のあり方を検討して参りたいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、AI オンデマンド交通のるーとについて、実証実験から7ヶ月が</p>
----------------	---

	<p>経過し、会員数、利用者数とも増加し、大変好評いただいている。大小様々な課題があるが、利用者、関係者と協議しながら、課題を解決し、本格運行への切り換え時期についてこの協議会で決定をしていただきたい。</p> <p>また、改定作業を行っている地域公共交通計画について、現状及びアンケート結果から抽出された課題に対する施策のイメージを皆様に協議いただきたい。</p> <p>皆さん方から忌憚のないご意見をいただき有意義な会議となるよう進めてまいりたく、どうかよろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p>本日の出席者については、先ほど報告した通り 17 名ということで、お手元の出席者名簿のとおり報告させていただく。</p> <p>会長の挨拶で述べたとおり 18 番、北陸信越運輸局交通政策部交通企画課の大村委員がこの度新たに就任された。大村委員からご挨拶をいただきたい。</p>
大村委員 (国土交通省北陸信越運輸局交通政策部)	<p>国土交通省におきましては、今年度から 3 ヶ年を交通空白の解消に向けた取り組み期間として、精力的に各種制度を用意して、地域に伴走支援したいと考えている。</p> <p>本日の協議会も含めて、今後ともどうぞよろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p>なお新任の委員の方におかれましては本市の交通政策の基本方針である魚沼市地域公共交通計画を配布しておりますのでご確認をいただきたい。</p> <p>これより、協議会規約により議事進行を会長の内田市長に交代する。</p>

3 議 題

(報告事項)

(1) のるーと魚沼の実証運行実績について

事務局	<p>のるーと魚沼の実証運行について、利用実績と今後の課題を説明・報告</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>質疑はないか</p>
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<p>ピーク時間帯の利用状況の現状を教えてほしい。降車場所における小出駅や小出病院の割合が高いが、これらは利用パターンがあるのではないのか。</p> <p>併せて、待ち時間が長くなりすぎないように運行出来ているのか。</p>
事務局	<p>午前 9 時、午後 16 時 30 分の利用者数が最も多い傾向にある。</p> <p>また、予約後の待ち時間についても、現状では長くならないように運行出来ている。</p>

<p>大村委員 （国土交通 省北陸信越 運輸局交通 政策部）</p>	<p>乗合率の平均値が 1.2 人程度となっており低いように思える。 現在は実証運行の段階にあると思うが、本格運行の時期の目安とその際に乗合率を高めるための工夫点があれば教えてほしい。 例えば、PR 施策を充実させたり、運行時間を定時パターンすることで利用を集約したりすることも乗合率向上のための方法として挙げられると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>本格運行の時期については、現在調整中の段階であり明確な時期は決まっていない。 乗合率の向上に向けた検討についても、具体的な対応施策を決めている段階にはない。一方で、PR は十分に行えている認識であり、利用者数も増えていることから、委員からの意見も踏まえつつ今後も乗合率向上に向けた検討を進めていきたい。</p>
<p>高松委員 （新潟県立 小出高等学 校）</p>	<p>小出高校では下校時に急な降雨があった際には、生徒がタクシーを呼び、乗り合って移動している実態がある（4 人程度で乗り合っていて、1 人 200 円程度の支払い額のような）。これについて、のり一と魚沼についても、現状の運賃（1 回 300 円）だけでなく、数人乗り合えば割引とする等の柔軟な料金体系施策があれば、高校生も積極的に利用するかと思うので検討してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>いただいた意見を踏まえ、今後の適切な運行形態・あり方について引き続き検討を進めていく。</p>
<p>内田会長 （魚沼市長）</p>	<p>ほかに質疑がないようであれば、以上で報告事項（1）は終わりとする。</p>

(協議事項)

(1) 第二次魚沼市地域公共交通計画（アンケート、施策イメージ等）について

事務局	第二次魚沼市地域公共交通計画について、アンケート結果や次期計画に記載予定の施策イメージ等について事務局より説明・報告
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか
山之内委員 (広神連合自治会)	タクシードライバーの確保に向けた施策を中長期的に検討・実施していく必要があるのではないかと。 例えば、外国人人材の確保等も含め、人材確保に向けた施策を実施する必要があるのではないかと。
武藤委員 (南越後観光バス株式会社)	運転手不足は喫緊の課題であり、越後交通（株）においても運転体験会等を開催しているが、効果的な解決には至っていない状況。南越後観光バス（株）においても、運転体験会の開催等を通じて若手を中心とした人材の採用確保に努めていきたい。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	タクシー業界についても、都会を中心に外国人運転手の採用も検討している。一方で、中山間地域の事業者にとっては、利用者の安心感の確保や職場の言語対応等の面で課題が大きく、現在具体的な検討を出来る段階にはない現状にある。
佐藤委員 (ひかり交通株式会社)	ドライバー不足はバス事業・タクシー事業ともに喫緊の課題。特に、二種免許の取得については1人当たり60万円程度の費用が必要となることから、補助等を充実化させる中で負担軽減を図る取り組みを実施し、運転手確保に尽力している段階。
大村委員 (国土交通省北陸信越運輸局交通政策部)	乗合タクシーとのるーと魚沼の違いを知りたい。 例えば、のるーと魚沼のメリットはアプリで簡単に予約でき、AI等がコースの最適化を実施してくれる中で人件費等の省略化につながる面もあると思う。 そのような中で、のるーと魚沼を拡大していくことも今後の方針の1つとして考えられるかと思うが、乗合タクシーや乗合バスの今後の棲み分けについて、どう考えているのか。
事務局	乗合タクシーとのるーと魚沼は運行エリアが分かれている。乗合タクシーは山間地と市の中心街を結ぶ路線であり、のるーと魚沼は小出地域等の市街地内をAIを活用して運行している。 乗合タクシーと路線バスは重複しているエリアがあるが、利用者の状況に合わせて時間帯等で棲み分けを図ることを考えている。

	<p>路線バスについては大量輸送が可能である点や地域間の幹線を担っていることから、各交通モードごとの特性をよく整理した上で、適切な役割分担を行い、必要に応じてルートやエリアの再編・棲み分けを検討していきたい。</p>
井口委員 (魚沼市自立支援協議会)	<p>市役所や小出病院におけるバス停の位置について、より利便性の高い位置に変更できないか。</p> <p>併せて、路線バス等を使用して市外に移動する利用需要も一定数存在していることから、乗合タクシーやのるーと魚沼も魚沼基幹病院に便利に乗り入れる体制を構築し、より利便性の高い運行エリアを検討できないか。</p>
事務局	<p>市役所や小出病院のバス停の位置については、昨年度のヒアリングでも意見を頂いていたことから検討をすることとしている。</p> <p>魚沼基幹病院への乗入については、市民からも多く意見を頂いているところであり、可能な範囲で次期計画にも盛り込めるように検討を進めていきたい。ただし、現在は魚沼基幹病院を経由する路線バスに乗り継いでもらうことを想定した案を検討している。</p>
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<p>アンケート結果について、のるーと魚沼を導入したこと等も踏まえ、過年度実施のアンケート結果との比較や、のるーと魚沼が導入されている小出地域とその他の地域の違いを確認し、課題感の改善状況や新たに生まれた課題等を把握できるようにしてもらいたい。</p>
事務局	<p>前回実施のアンケート結果との比較や地域での違いについて、次回協議会の際までにまとめたうえで、課題感の把握や今後の施策検討に活かす形で提示したい。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>質疑はないか。</p> <p>ないようであれば、地域公共交通計画の策定（アンケート、施策イメージ等）については、異議なしということで承認することとしてよいか。</p>
委員一同	<p>異議なし【承認】</p>

(2) 地域公共交通計画「別紙」(地域間幹線系統)の変更(案)について

事務局	<p>地域公共交通計画「別紙」(地域間幹線系統)の変更(案)について、事務局より詳細の説明・報告</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>質疑はないか</p>
武藤委員	<p>小出-小千谷間を走行する路線バスについて、利用状況を鑑み、10月1</p>

(南越後観光バス株式会社)	日より1日3往復に変更(減便)する点について、ご理解いただきたい。
山之内委員 (広神連合自治会)	免許返納者に対する支援施策について、現在は22,000円分の回数券を配布するに留まっているかと思うが、高齢者の危険運転の事例もあるので、一時的ではなく継続的な支援も必要なのではないか。
内田会長 (魚沼市長)	免許返納者に対してどう安全・移動の足を確保するかという点については今後も有効な検討を進めていきたい。 一方で、免許返納者に対する施策ばかり充実化させた場合、免許を持っていない交通弱者に対する支援施策とのバランスを保つことが難しくなることから、両者の適切なバランスを保ちつつ有効となる施策を検討していきたい。
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。 ないようであれば、地域公共交通計画「別紙」(地域間幹線系統)の変更(案)について、承認することとしてよろしいか。
委員一同	異議なし【承認】

4 その他

内田会長 (魚沼市長)	ないようであれば、全ての議事について以上で終了とする。 議事の進行についてご協力いただき、感謝申し上げます。 進行を事務局へお返しする。
----------------	--

5 閉会

事務局	閉会に当たり、宮腰副会長からご挨拶をいただく。
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	長時間、議論いただき、3、資料2のところに出てきておりますように、次回になると詳細に示されるということになります。 今日は施策の項目について、ざっくりとした記述等があったわけです。 それについて、いくつかご意見いただいたと思うんですが、今思いつかないけど、地域ではこんなこと言ってるよって、広神連合自治会山之内委員からいただいたような形で、また市の方に言っていただけるとよいと思う。

別紙

令和7年度 第2回(第55回) 魚沼市地域公共交通協議会 出席者名簿

(敬称略)

No.	所属等	職名	氏名	備考
1	魚沼市	市長	内田 幹夫	会長
2	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社長岡統括センター	浦佐駅長	(欠席)	兼湯沢駅長
3	南越後観光バス株式会社	乗合営業部 部長代理	武藤 文昭	
4	魚沼市タクシー協会	会長	小島 由紀子	
5	ひかり交通株式会社	代表取締役	佐藤 貴宗	
6	入広瀬コミュニティ協議会	会長	浅井 宏一	
7	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所計画課	課長	小出 央人	
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部 計画調整担当	計画専門員 (総括)	(欠席)	
9	魚沼市産業経済部建設課	課長	星 和久	
10	新潟県小出警察署	交通課長	星野 将太	(代理)
11	根小屋連合自治会	会長	上 村 勤	
12	小出干溝区連合自治会	会長	(欠席)	
13	湯之谷地区自治会長連絡協議会	会長	星 良浩	
14	広神連合自治会	会長	山之内 隆	
15	守門地区区長会	会長	(欠席)	
16	入広瀬地域区長会	会長	(欠席)	
17	長岡工業高等専門学校	名誉教授	宮腰 和弘	
18	国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課	課長	大村 進太郎	(新任)
19	国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	(欠席)	
20	新潟県魚沼地域振興局地域振興グループ	地域振興 専門員	(欠席)	
21	新潟県立小出高等学校	校長	高松 利治	
22	魚沼市老人クラブ連合会	副会長	佐藤 彰	
23	魚沼市自立支援協議会	会長	井口 正博	
24	一般社団法人日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会	議長	(欠席)	
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課	課長	茂野 孝	